

かりえ地域づくり

No.8 | 2022.12.20



今年も秋の修学旅行生受入を行い、11月に念願の民泊での受入を終えました。地域の方との交流や家業体験で狩江の魅力や人の温かさを感じて頂けたようです。



食後のみかんタイム



地域への恩返し、ゴミ拾い大作戦

スマホで読んでみて★



かりとりもさくのホームページで体験の様子や修学旅行の概要を紹介しています。



NHKウェブニュースで紹介されました。動画あり！

かりえの体験プログラム 教育旅行の受入

高まるニーズ「SDGs 学習」と「田舎体験」

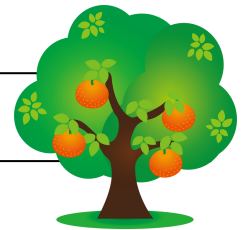
近年、修学旅行の行先に中四国の田舎が注目されています。その理由に、長引くコロナ渦と日本の経済情勢があります。

コロナ前の修学旅行は、海外や沖縄、北海道が人気でしたが、感染リスクや感染後の渡航規制の問題により、生徒が飛行機などを使わず、首都圏からバスで移動でき、なおかつ広島を平和学習を通るルートにニーズが高まっています。さらには、円安・物価高騰に輸入品の値上げで、地産地消の必要性、日本食の再構築が叫ばれ、教育旅行の観点からも、田舎が果たす役割は大きくなっています。

一方、コロナで儲かった産業は、ゲームソフトと冷凍食品。外出規制やオンラインでの社会生活が影響したであろうこの結果は、子どもたちの人との関わり、自然との関りを奪ったことは言うまでもありません。狩江には「食・自然・人」が豊かに溢れ、学生を迎える準備などいろいろなことに気付きました。ありのままの暮らしを、ありのままの住民で迎えたい。そのような誇りを胸にこれからも子どもたちを迎えていきたいです。

かりとりもさくの会では、令和2年度から本部運営と委員会の中で準備が進められ、翌年の3年度に受入をはじめ、今年12月までに9校409名の学生を受け入れました。

そしてこの秋からは、住民の協力により民泊の受入も始まり、その家々で温かい食事やもてなしに、「帰りたくない」と涙する学生もいて、民泊のチカラに驚きました。



本浦 角力練のルーツ 西の海安吉 を知っていますか？

10月吉日、興福寺の境内に、元大阪相撲大関西の海安吉の醍彰塔とその顕彰を讃える看板が設置されました。西の海安吉は、天保十四（一八四三）年生まれ、狩浜出身で、明治初期に大阪相撲で大関を飾った郷土の力士です。明浜こぼれ話（久保高一編著）の郷土の先人編によると、大変な力持ちで、狩浜の権現山（四六四メートル）にある石鎚神社参道入口に、石鳥居を奉納する際には、片方の竿を一人で担ぎ上げ、石材を麓から運んだ逸話をご存じの方もいらっしゃるでしょう。

狩浜の秋祭り「角力練り」のルーツとなった西ノ海のストーリーを今後はガイドコースの案内スポットとして活用する他、狩浜文化の継承のために役立てていく予定です。



東京農業大学みかんインターン事業 ワカモノのちから 冬のインターンが始まります！

今年の夏、東京農業大学から22名の学生が狩江を訪れ延べ13日間の農業実習や田舎体験プログラムに参加しました。

そして、この冬、（12/24～12/30）ふたたび30名の実習生が収穫作業や漁業のお手伝いをしにやってきます。今回は繁忙期に参加ということもあり、夏の恩返しに一生懸命働きたい！と学生も気合十分です。

※この事業では、収穫作業受入の農家さんを募集しております。年末のお忙しい中の受入になりますが、学生たちの農業研修及び、地域と都会の若者をつなぐ交流事業として受入にご協力いただきますようお願いいたします。

※受入にあたってのお問合せ

狩江公民館 二宮 0894-65-0301
12/24 入村式 12/29 離村式&報告会

東日本大震災から11年。

1枚のかまぼこ板が繋いだ岩手と西予の絆 笑顔の木

狩浜の農家、兵頭さんの園地に今年、2本の温州みかんが実りました。2011年の東日本大震災以降、西予市民と交流する岩手県の子供から贈られた、みかんの苗が成長し、11年の月日が経ち、念願の実をつけました。11月20日の記念セレモニーでは、西予と岩手の交流のきっかけをつくった旧田老第三小学校（同県宮古市田老）の教諭新沼朋子さんが畑を訪れ、大きく実ったミカンを収穫。甘酸っぱいみかんを当時の思い出と共に味わいました。

1枚のかまぼこ板が繋いだ11年の交流とストーリーの始まりは多くの奇跡と人々の温かい愛でした。そのエピソードは現在段々畑ガイドさんによる紹介や新聞記事でも閲覧できます。

ぜひご覧ください。



愛媛新聞 WEBニュースはこちら↑



来年度の 手上げ型交付金申請について

かりとりもさくの会が実施主体となる来年度の手上げ型交付金の申請が始まります。

もさくの会では、地域住民が主体となって地域の自主・自立に向けた地域づくり活動を推進しております。住民の方で、「こんな事業がしたい！地域のこんな問題を何とかしたい！」と思われる皆さん。

もさくの会がお手伝いをさせていただきます。公民館で熱い地域づくりトークしませんか？



せいよ地域づくり

手上げ型交付金交付要綱はこちら

